ネットワーク多摩広報誌

network TAMA

2017 3.31

＜ 第５号 ＞

多摩未来奨学生プロジェクトが始動

多摩未来奨学金へ寄附金44社1個人から800万円

平成28年度の多摩未来奨学生プロジェクトの活動がスタートしました。昨年12月に奨学金の交付を受けた11大学24人の学生は、2月9日、1年間活動するための集合研修に臨みました。この奨学生に給付する奨学金への寄附金の募集は3月末で締め切られ、多摩地域を中心とする都内や近隣の企業44社1個人から800万円の寄附を受け、奨学生に2回に分けて給付します。

この日までにすでに各人がＳＮＳなどで連絡を取り合っていてグループ談議がスムーズに

多摩未来奨学生プロジェクトは今年度で4期目。給付金は日本政策金融公庫と多摩信用金庫の協力をいただき、多摩地域を中心とした企業などから寄附を募り、その基金をネットワーク多摩加盟の大学、短期大学の学生に給付するもの。奨学生は、大学教員や企業などの専門家の指導を受け、奨学生たちの思いに沿った形で地域活動や企業などを訪問して多摩地域の実情を調べて地域を活性化するための方策を提言します。

多摩未来奨学金制度は、奨学金を給付するだけでなく、多摩の企業や行政、大学の人的資源を生かす、ネットワーク多摩ならではの産学官が連携・共同して有為な人材を育てることを目指して毎年、プロジェクト活動しています。

臼井社長の話に聞き入る奨学生

調査・分析に向けて実践講座

大森さん

実質的な活動の初日である集合研修では明星大学准教授・大森寛文さんが問題点を発見するための視点の置き方、データの見方・読み方など奨学生たちが今後の活動に役立つケースを具体的に話されました。

多摩未来奨学金審査副委員長の京西テクノス株式会社代表取締役社長・臼井努さんは、4期生へのメッセージとして、宇宙産業の部品を製造するなど、多摩地域にはポテンシャルが高い企業が多いことなどを挙げて働く姿勢の大事さを訴えました。

また、奨学生たちの活動の舞台である多摩地域の文化や産業などの実情について、中央大学教授の細野助博・ネットワーク多摩専務理事がレクチャーし、いま臨まれる施策は何かをイメージづけました。

集合研修の第2弾は4月22日に行われます。この日は、明星大学教育センター特任准教授・榎本達彦さんを招き、グループワークの進め方など実践向けに学びます。

［2面につづく］

多摩未来奨学生プロジェクトに7人のコーディネーターが細やかに指導

多摩未来奨学生プロジェクトに取り組む奨学生たちは3つのグループに分かれて活動します。「健康・福祉・環境」では実践女子大学教授・犬塚潤一郎さんと（株）キャリア・マム営業部長・込戸雄太さんがコーディネーターとして指導します。また「教育・文化」のコーディネーターは東京経済大学准教授・山本聡さんと日本政策金融公庫総合研究所主席研究員・深沼光さん。「産業・企業」を担当するのは法政大学准教授・糸久正人さんと多摩信用金庫地域連携支援部調査役・本山良樹さん。統括コーディネーターは中央大学教授・根本忠宣さん。

今後の方針や具体的な活動の進め方などはグループごとに話し合って進めていきます。8月に中間発表して、12月の提言発表で活動を終える予定です。

根本さん

犬塚さん

込戸さん

山本さん

深沼さん

糸久さん

本山さん

平成28年度寄附協賛企業

1	安藤物産㈱	八王子市	16	国際計測器㈱	多摩市
2	㈱ いなげや	立川市	17	サイエナジー㈱	相模原市
3	㈱うかい	八王子市	18	JR東京西駅ビル開発㈱	八王子市
4	HKT ㈱	相模原市	19	㈱立飛ホールディングス	立川市
5	エム･ケー㈱	日野市	20	たなべ物産㈱	八王子市
6	㈱エリオニクス	八王子市	21	多摩信用金庫	立川市
7	応用光研工業㈱	福生市	22	千代田運輸㈱	日野市
8	㈱学生情報センター	京都市	23	㈱テージーケー	八王子市
9	㈱環境管理センター	八王子市	24	テクノブレーンズ㈱	稲城市
10	㈱キャリア･マム	多摩市	25	東京システム運輸ホールディングス㈱	東大和市
11	京西テクノス㈱	多摩市	26	東成エレクトロビーム㈱	瑞穂町
12	旭栄研磨加工㈱	東久留米市	27	東洋システム㈱	立川市
13	㈱グッディーホーム	武蔵野市	28	㈱藤和ハウス	西東京市
14	㈱クローバーズ	国立市	29	㈱ナジック･アイ･サポート	渋谷区
15	京王電鉄㈱	多摩市	30	日本たばこ産業㈱	港区
31	日本電子㈱	昭島市			
32	日本電子工業㈱	相模原市			
33	日本ビニールコード㈱	八王子市			
34	武州工業㈱	青梅市			
35	武陽ガス㈱	福生市			
36	㈱ベネッセコーポレーション	多摩市			
37	㈱ホトロンホールディングス	新宿区			
38	㈱ホリコー	武蔵村山市			
39	㈱三浦組	府中市			
40	㈱物井工機	八王子市			
41	山口電材㈱	昭島市			
42	山三電機㈱	立川市			
43	吉野化成㈱	八王子市			
44	㈱よみうりランド	稲城市			
45	個人				

多摩未来奨学金とは？

多摩の企業･団体から拠出の資金を原資として、多摩地域の各大学･短大から選抜された学生に奨学金30万円を給付。学生は「多摩未来奨学生プロジェクト」に参加し、大学教員および専門家の指導の下、地域活動や企業訪問を通しグループワークを行い、多摩地域への提言を行います。

単位互換事業

新聞から見える現代社会
読売新聞提携講座

めまぐるしく動いている世界の現状を追うメディア。そんな世界に飛び込んで仕事をしたいと思い描く学生に受講をすすめたいのがネットワーク多摩の大学間連携事業のひとつである単位互換の「読売新聞提携講座」。2016年度の受講生は、前期後期合わせて140人ほど（大妻女子、実践女子、多摩、玉川、中央、帝京、明星大学の学生）。2017年度も前期は明星大学で、後期は中央大学で開講します。

前期は「現役記者が教える英字新聞のツボ」。明星大学教授・河内山晶子さんと読売新聞社の柴崎清孝さんがジャパンニュースの記事に出ている語彙や語法を解説し、ニュースの背景や時事問題にも知識を広げます。

後期は「現代社会と新聞」。中央大学教授・高橋徹さんが中心になり、現場の記者や論説委員らが出講し、報道領域の現状と課題を解説した後、激変するメディア環境の中の新聞メディアの役割などについて講義します。

受講希望の学生は、各大学で手続きしてください。

高橋教授からネットワーク多摩に寄せられた熱いメッセージを披露します。

ネット･ニュースの源流へとさかのぼる旅

中央大学　高橋徹教授

「ニュース」というものがどのようにつくり出されているのかを知りたい、と思ったことはありませんか。日々の世の中の出来事を伝えるニュースを、皆さんはどこから手に入れているでしょうか。主にスマホやタブレット端末を使ってインターネットから手に入れているという人も多いでしょうし、テレビ、新聞、ネットと複数のメディアを上手に使いわけて情報を手に入れているかもしれません。私たちが直接ニュースに接触するメディアは多様化していますが、様々な出来事を現場で取材し、報道の「プロ」として世の中にニュースを送り出すジャーナリストに求められる使命は変わっていません。社会に伝えられる情報の正確性・真実性を確保することは、日本ばかりでなく国際的な社会・政治状況においてあらためて重要性が増しています。

紙面づくりへの姿勢がわかる

本講座「現代社会と新聞」では、こうした現代社会の状況をふまえながら、ジャーナリズムの中心的な担い手の一つである新聞メディアの日々の仕事に迫ります。本講座は読売新聞において紙面作りに現場で従事している経験豊富な講師によるリレー講義方式で展開され、政治面、経済面、社会面、生活面、さらには社説といった様々な紙面の制作現場で記者やデスク、論説委員がどのような姿勢で紙面作りに取り組んでいるかを知ることができます。将来の進路としてジャーナリズムに関心のある人は、講義後の質疑応答でさらに知識を深めることができるでしょう。

情報社会のあり方が見える

新聞メディアの生き残りをかけたデジタル戦略。これからの新聞のあり方を考えるなら、このテーマをはずすわけにはいきません。新聞社はいまや紙面ばかりでなく、様々なニュースサイト、専門的な情報サイトで記事を配信しています。皆さんが普段ネットで読んでいる記事が、新聞社による配信記事であったことはありませんか。その意味で、本講座はネット・ニュースの源流へとさかのぼる旅ともいえます。デジタル戦略の展開によって変わる新聞メディアの動向を一つの切り口として、これからの情報社会のあり方がみえてくるはずです。

平成28年度多摩武蔵野検定会場試験が行われました

タマケン受検者74人　半数が30代以下

2016年度の「知のミュージアム　多摩・武蔵野検定」試験を3月11日に明星大学で行いました。午前、午後に分けてジュニア級検定、マスター4級はじめ、3級、2級、1級の5クラスの試験に中学生から70代まで74人が受検しました。全体の半数が30代以下で、他の半数は、40～50代と60～70代が二分して若い人が目立つ試験会場でした。

市別ごとの試験であるジュニア級に挑んだ受検者は3人で、八王子市と立川市、西東京市の問題に取り組みました。4級も市別の試験内容で10人が9市（八王子、立川、武蔵野、府中、調布、国分寺、小金井、武蔵村山、西東京市）それぞれの試験問題を解きました。多摩地域全域から出題される3級（受検者38人）、2級（同19人）、1級（同4人）をそれぞれの会場で進めました。併願受検者は一日がかりでした。

出題問題の用紙をめくる音と鉛筆を動かす音だけが伝わる試験会場

会場で試験官を務めたのがタマケン合格者の5人。「自分が受検した時のことを思い出して緊張しました」と試験後、スムーズな運営ができて胸をなでおろしていました。受検者がアンケートの中で「多摩へのラブレター（私の想い）」を書いた内容は「多摩地域の素晴らしさを多くの人に知ってほしい」とつづったものが多くありました。受検者への結果通知は5月下旬までに行う予定です。

多摩へのラブレター（私の想い）

閉店した店を学生に開放して

私が子供の頃は、八王子市内にはデパートが数多くあり、甲州街道が賑やかでした。今ではデパートもなくなり、甲州街道もシャッターが閉まっている店が多くあります。八王子市内には素晴らしい大学、専門学校がたくさんあります。閉まっている店を学生さんに使ってもらい元気のある街にしてほしいです。
（会社員50代　テレス）

幼少の遊び場を写真集手にウォーキング

東村山市萩山で生まれ、学校、会社とすべて多摩地域で過ごしたものです。小平の用水路でザリガニ釣りをした幼いころの思い出が蘇ります。当時は空き地や雑木林が多くあり、そのすべてが遊び場でした。今は、小平に住んでいますが、畑も少なくなり、住宅地が広がって面影がなくなりました。わずかに残った思い出の場所を、昔を振り返りながらウォーキングしています。図書館で見つけた古い写真集を片手に。
（元会社員　山下雅之）

タマケンに合格したら部下に受検させる

出身は広島県で、大学は福岡、勤務地は熊本、東京（赤坂、品川）などを経て、現在、立川で勤務しています。各地の良いところをたくさん見てきましたが、多摩地区はとても魅力的です。しかし、都心の人や地方の人の多摩・武蔵野地区全体のイメージは決して良くなくて、都心から転勤してくる部下や新入社員の声を聞くと悔しくなります。ネットワーク多摩で検定のことを知り、ますます私自身がもっと深く学び、検定を受ける決心をしました。私が合格したら、部下全員に受検させて、全員が多摩・武蔵野エリアで働ける喜びを感じ、他の人と魅力を、胸を張って教えられるようになれば、働く喜びと誇りを持って楽しく働けると信じています。
（会社員50代　Ben）

多摩に貢献したいから受検

自然豊かな多摩が大好き！！　将来、多摩地域に貢献していきたいと思って、今回、受検しました。（学生20代　F.n）

タマケンがきっかけで地元愛に目覚めた

タマケンを受検しようと多摩地区の勉強を始めた時からとても「地元愛」に目覚めました。多摩と武蔵野のエリアの違い、府中崖線と国分寺崖線のはけと立川面、武蔵野面と地形も意識するようになりました。たまのウォーキングでも町田市小野路の小島家のたたずまいなど、歴史を感じ、より深く勉強しようという意識が高まっています。
（会社員60代　ムッチー）

人の輪広がり楽しい日々

多摩に住んで2年足らずなのですが。検定を通じて多摩について学んだ知識のおかげで知らない人とも昔からの知り合いのようにすぐ仲良くなれます。多摩が好きな人、地元愛の強い人たちと魅かれあって、人の輪が広がることに楽しさを覚える毎日です。今後は学びの友が増えることを期待しています。（会社員40代　ゆうちゃん）

ぶっつけ本番初受検

初めて受検。途中7年、関西在住のほか、八王子、日野、八王子、（関西）、東大和に居住（43年）。どれだけ多摩を知っているか、ぶっつけ本番の受検です。
（老人福祉施設パート70代　Sanma）

多摩の文化の担い手でありたい

多摩地域が元気であるのを見ていたい。活性化に必要なものは人と人とのつながりやコミュニケーション。それは文化と言ってもいい。大切な文化。多摩の文化。私は、その担い手でありたい、と思います。（50代　りょうこ）

多摩に生まれて40年以上、無関心だった

多摩に生まれ、生活して40年以上になります。しかしながら自然や歴史のある多摩・武蔵野エリアについて、これまでほとんど無関心でありました。多摩・武蔵野検定を知り、その対策を進めていくうちにどんどん興味と関心が深まっていきました。今後は検定対策で得た知識を持ってどんどん現地を訪ねてみるつもりです。（会社員40代　T.K）

2017年３月発行のネットワーク多摩事業報告書

ららぽーと立川立飛をもっと魅力的にする報告

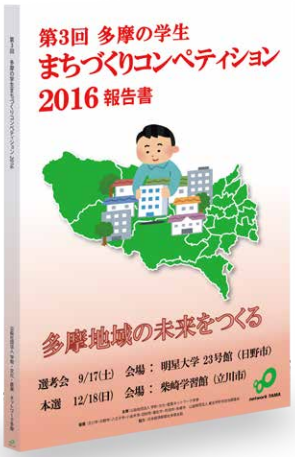
アンケートの分析から「ららぽーと立川立飛」の戦略を考える

オープンしてから1年余りが経過したことから、当初計画の軌道修正も着実に進められつつある「ららぽーと立川立飛」。このモール型大規模ショッピングセンターが、多摩地域住民を中心に各所各地域から人を引き付けるための魅力や、認識されていない課題を探るため、２回のアンケート調査を含め、地理統計システムや統計解析を援用しながら調査分析が進められました。（全168ページ）

【内容】はじめに／戦略を考えるエグゼクティブサマリー
第1部 問題提起／1. 商業の役割とショッピングセンター／2. 商圏を形作る人口―購買力の源泉―
第2部 競合店分析／1. 競合店の比較分析／2. GISによる商圏分析
第3部 アンケート調査分析／はじめに／1. 回答者の属性分析／2. 来店者満足度分析／3. 広告に関する補論／おわりに／資料

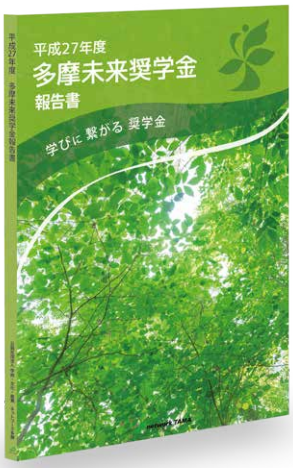
第3回 多摩の学生まちづくりコンペティション2016 報告書

多摩の「元気」につながる6団体の実践的取り組み



「多摩の学生まちづくりコンペティション」では、若者の視点や感性を活かした、今ある多摩地域の魅力を発信できる企画や、今までにない多摩地域の新たな価値を創造して、多摩地域が抱える課題を克服する提案を募集。本報告書ではコンペティションで発表された、未来に活力を与えることができる多摩の学生たちの「実践的」試みを掲載しています。（全154ページ）

【内容抜粋】本選・プレゼンテーション概要／他
最優秀賞　「ムスリムウェルカムタウン 八王子」
優秀賞　「環境にやさしいまちづくり」／「瑞で繋がる多摩のまちづくり」
奨励賞　「学生をもっと主体的に！」／「ローカルメディアの可能性の探求」
「小学生も大学生も学ぶ『たまっ子塾』開講！！」



平成27年度多摩未来奨学金 報告書

奨学生達のプロジェクト報告と多摩地域への提言集

多摩未来奨学金は、多摩地域の企業・団体等の出資による、本法人加盟大学・短期大学の学生を対象とした奨学金です。多摩未来奨学生は地域活動や企業訪問を通し、グループワークを行い、企業や地域への提言を発表する「多摩未来奨学生プロジェクト」に参加。本報告書は学生たちによる「多摩地域への提言」と一年間のプロジェクトの記録です。（全122ページ）

【内容抜粋】提言発表　健康・福祉・環境グループ「多摩の商店街からの地域活性化」／教育・文化グループ「多摩地域における多様性の理解の促進」／環境・産業グループ「キラッと輝く中小企業と学生の縁結び」／平成28年度多摩未来奨学金交付式／他

政策スクール2016 報告書

魅力ある多摩地域の将来を学生と行政職員が考える

自治体の職員と、自治行政に関心がある学生が、同じように多摩に働き、生活する者として連携を深めていく目的で始まった「政策スクール」。本報告書は行政職員と学生による３つのワークショップ内容を掲載。また、浅見泰司さん（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授）の基調講演「地域の魅力をデータで可視化する」の講演録も掲載しています。（全86ページ）

【内容抜粋】基調講演「地域の魅力をデータで可視化する」／ワークショップ・政策提言
1. 女性のライフスタイルを輝かせる多摩の魅力とは？／2. 多摩の産業集積をどのように再編すべきか？／3. 多摩の魅力を引き出すファシリティ・マネジメントとは？

「24時間眠らない街 多摩」実現化へ　産学官連携ますます強化して展開
平成29年度ネットワーク多摩事業計画

第Ⅰ事業：大学間連携事業
～大学間連携を深化させ、連携組織間の戦略的連携を進める

1．単位互換事業〔継続〕

加盟大学の学生に対する教育の充実を図るため、他の大学・短期大学において修得した授業科目の単位を自大学の単位として修得したものとみなされる制度の実施。

【実施項目】

（1）　参加大学から提供される科目による単位互換、企業等から提供される提携講座

①特別講義1（読売提携講座）（会場：明星大学）[継続]

②読売新聞提携講座（会場：中央大学）[継続]

2．多摩未来奨学金〔継続〕

加盟機関や多摩地域の企業・団体から拠出された寄附金を原資として、加盟大学、短期大学の学生を対象にしたプロジェクト参加型の給付型奨学金事業。プロジェクトを通し、多摩地域の学生が地域と地域企業に対する理解を深め、多摩地域を活性化する人材を育てる。

3．就職支援事業〔継続〕

加盟大学の学生、卒業生、地域の若者を対象に、加盟大学就職支援部門、関係企業、外部機関と連携して就業力育成支援、合同企業説明会の実施や後援を行う。

【実施項目】

（1）在学生、既卒者を対象にした就職支援事業を地域と連携して実施する。

（2）求人情報を賛同企業から情報収集し、加盟大学就職担当部門に周知する。

（3）東京しごとセンター多摩などと連携し、合同就職説明会開催や求人情報を周知する。

（4）学生の就業力育成支援「ワークプレイスメント」の情報を大学に配信する。

（5）インターンシップのカリキュラムの設計及び講座実施の支援をする。

4．学生生活支援事業〔継続〕

加盟大学の新入生、在校生を対象に、初めてひとり暮らしをする学生や保護者の方の不安を取り除くため、安心して暮らせる住居の紹介、医療機関情報のほか、エリア毎の緊急避難場所など公共サービス、地域情報、先輩学生アドバイザーによる相談会の実施など、多摩地域で安心して学べる環境を提供する。

【実施項目】

（1）新入生対象のひとり暮らし相談会・説明会をキャンパスツアーや入試相談会で開催する。

（2）新入生・在校生対象の「ひとり暮らしの学生のトータルケア（①住居情報　②加盟行政が提供する地域生活情報　③学生による学校情報やアルバイト支援）」をAGORA立川で開催する。

5．多摩の学生まちづくりコンペティション〔継続〕

多摩地域で活動する学生を対象にした多摩の持つ地域資源を発見・活用して、多摩の未来を創造する事業。多摩地域の「まち」をフィールド調査して、若者の視点や感性を活かした、今ある多摩地域の魅力を発信できる企画や、今までにない多摩地域の新しい価値を創造して、多摩地域が抱える課題を克服することで未来に活力を与えることができる「実践的」試みの提案を募集し表彰する。

【実施項目】

（1）多摩地域でフィールドワークを実施している学生団体を募集し表彰する。

6．全国大学コンソーシアムの展開〔継続〕

全国大学コンソーシアム協議会の運営に参加し、「研究交流フォーラム」の実施や本法人が取り組む事業活動の報告、研究発表などを行う。また、各地域大学コンソーシアムの取り組み事例などから各地域大学コンソーシアムが抱える課題などの収集を行う。

【実施項目】

（1）平成29年度第14回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムに参加し、本法人の活動PR及び他の大学コンソーシアムの活動内容の情報収集。

7．多摩未来創造フォーラム（多摩地域大学理事長・学長会議）〔継続〕

多摩地域の産官学は、首都圏を代表する創造的で活性化された地域としての地位を維持するために力を結集すべき時期が到来しており、連携を基軸として産官学のトップが多摩地域の現状と将来を語るために課題を持ち寄り、解決策を論議しあう「多摩未来創造フォーラム」として開催する。

【実施項目】

（1）多摩未来創造フォーラムの実施。

第Ⅱ事業：地域の人材育成と教育力アップ事業
～多摩地域の人材育成と地域の教育力の向上に努めるとともに多摩地域の調査・研究を行う

1．多摩・武蔵野検定〔継続〕

多摩・武蔵野検定は、多摩の魅力を掘り起こし、多摩・武蔵野のブランド化、その可視化の有力なツールとなる。合わせて、

大学および行政と連携し、新コンセプト(大学院教育も含めた学び直し)で生涯学習と新たな学問の創造につなげる。

【実施項目】

（1）平成29年度会場検定の実施。

（2）加盟機関と連携を図り、団体受検を推進する。

（3）ジュニア級検定の普及によりタマケンファン層の拡大。

（4）合格者の活動の場をさらに広げる（多摩めぐり30ボランティアスタッフなど）

（5）マスターバンクの活性化（主体的な活動の実施、合格者のつどいなど）

2．多摩地域行政連携事業〔継続〕

【実施項目】

（1）行政部会を中心とした第5回政策スクールの開催。

（2）新規行政の加盟促進および行政より事務局へ職員派遣の依頼。

（3）行政の委託事業を実施。

（4）行政のイベント・ボランティアの情報配信、有識者・講師派遣の情報提供。

3．新任大学教員研修〔継続〕

公益財団法人八王子セミナーハウスと共催で、双方の加盟大学の教員を対象に実施。多様な学生が大学教育を受ける機会が飛躍的に拡大した今日、学生の意欲を高め、機動的な学びを通して自ら課題を発見して解決する力を培う。

【実施項目】

（1）新任教員の資質向上を目指して本研修を八王子セミナーハウスと共催で行う。

第III事業：国際交流事業

～留学生の学びやすい環境作りをはじめ、国際学園都市圏多摩の構築を目指す

国際学園都市づくりを長期的視野において、留学生の寄宿舎および外国人研究者の確保、留学生の生活支援、就職支援や留学生交流の実現を図る。

1．キャンパスTAMAプロジェクト〔継続〕

【実施項目】

（1）国際化委員会の設置〔新規〕

「24時間眠らない街　多摩」をキーワードに、数多くの外国人留学生が集まり、日本人、外国人を問わず優秀なグローバル人材を育成する場所を多摩に創出するための大きな方向性を定める。

（2）国際化委員会ワーキンググループの設置〔新規〕

「国際化委員会」の実働部隊となる組織で、平成29年2月から稼働。

「24時間眠らない街　多摩」を、どこに創るか、何を作るか、どのようなメニューを揃えるかなど、具体的な項目について検討する。

（3）留学生国際センターネットワークの開催〔新規〕

主に加盟大学の外国人留学生の各種業務に直接携わる職員の情報交換会として、平成28年10月から稼働。

単独では解決できない課題を複数校で解決し、ケーススタディを共有して留学生サポート向上に繋げることが目的。

10月に全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム開催

2月25日、沖縄県恩納村の沖縄科学技術大学院大学（写真）で全国大学コンソーシアム協議会運営委員会が開かれ、今年の「第14回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」を同大学で行うことが決まりました。

開催は10月7、8日の両日。テーマは「第14回大学コンソーシアムとボランティア」として初日に基調講演とシンポジウムなどを行い、2日目の午前中に分科会が行われます。両日とも希望者を対象に、沖縄科学技術大学院大学のキャンパス見学を予定しています。

ネットワーク多摩定時会員総会と多摩未来創造フォーラム2017 6月3日、帝京大学で同日開催

ネットワーク多摩の平成28年度定時総会を6月3日に帝京大学で行うのに伴い、同日午後、「多摩未来創造フォーラム2017（第7回多摩地域大学理事長・学長会議）」を開くことを決めました。

今年は２年に一度の開催年にあたることから、2月10日に明星大学で開いた同フォーラム企画運営委員会で話し合われ、内容を検討しました。

その結果、同日は午前11時45分から平成28年度の総会（会員のみ）を開いた後、午後1時から会員のほか、一般の人も参加できるフォーラムでは経団連米国事務所（ワシントン）所長・山越厚史さんを迎え、トランプ大統領によるアメリカ事情などが聴けそうです。2時半ごろからの分科会テーマも煮詰まりつつあります。5時半過ぎからは懇親会も予定しています。

問い合わせはネットワーク多摩事務局へ。

文科省公募事業「留学生就職促進プログラム」
拓殖大学と八王子・立川商工会議所、ネットワーク多摩が連携して応募

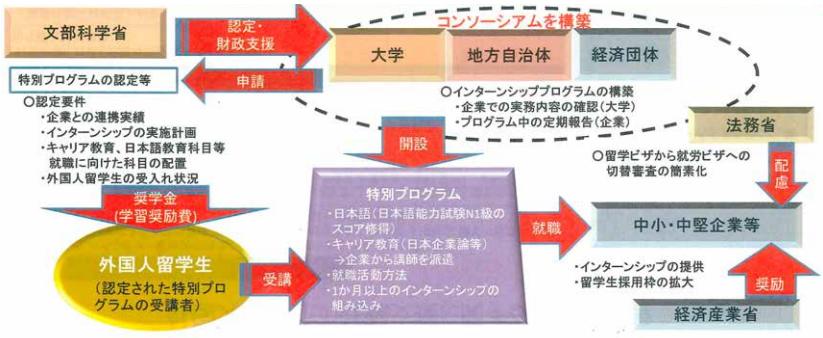
国内の大学に外国人留学生30万人の受け入れを推し進めている文部科学省は、大学および産官学コンソーシアム、地域の経済団体が一体となって進める「留学生就職促進プログラム」を発表したのに伴い、拓殖大学とネットワーク多摩、さらに立川商工会議所、八王子商工会議所が共同で取り組んでいくことにして3月初め、拓殖大学が代表して応募しました。

このプログラムは、「日本経済全体の活性化のために幅広い産業で需要が高まる高度外国人材の獲得・定着が求められており、外国人材の活用は政府方針の柱の一つとなっています。外国人留学生の日本国内での就職率を現状の３割から５割の向上に向け、各大学が地域の自治体や産業界と連携し、国内・日系企業の就職に重要なスキルである『日本語能力』『日本での企業文化等キャリア教育』『中長期インターンシップ』を一体として学ぶ取り組みを普及することで外国人留学生の国内での定着を図り、目標の達成を目指す」としています。

更に、キャリアパスの安定化による日本留学の魅力を向上し、諸外国から我が国への優秀な外国人留学生を増加させて留学生30万人計画を実現させたいと計画されました。

採択された場合に実施するプログラムは、①教育プログラムの開発実施（ビジネス日本語教育、キャリア教育、インターンシップ・プログラム）、②近隣大学の学生も参加できる就職セミナー等の開催、③教育プログラムの開発実施の可能な範囲（遠隔授業等）でのコンソーシアムに参加する他大学の学生への開放、④外国人留学生受け入れ経験の少ない企業への支援、⑤持続可能な仕組みの構築の５項目が挙げられています。

ネットワーク多摩では、拓殖大学と連携する一方、立川商工会議所、八王子商工会議所に受け入れ協力を願い、拓殖大学が代表して文科省に申請手続きしました。全国12拠点で展開予定。応募結果の発表は４月上旬です。採択されれば、最大2500万円の助成が受けられます。



留学生就職促進プログラム概要図

新 会員紹介

国際交流で多文化共生社会を
一般財団法人　教育文化国際交流財団

教育および文化における国際交流を通じて我が国と諸外国との相互理解の促進を図るとともに、日本語能力を有する高度グローバル人材の育成と活用、多文化共生社会の実現などに資する事業を行い、日本および国際社会の安定と発展に寄与することを目的に次の事業を行っている。

1．国際インターンシップ
2．高度グローバル人材活用支援事業
3．日本語教育スカラシップ事業
4．異文化国際交流事業

入会目的は、国内外の大学生の海外インターシップの企画・実施及び生活サポートや外国人留学生へのビジネス日本語や専門日本語教育の支援、当財団の遠隔教育システムを活用したアジアの大学との教育・交流支援、留学および生活支援をする。アジア地域の初等中等学校同士の交流イベントを大学生が企画・運営することや大学が集積している地域との交流活動も展開したい。

千代田区内神田2-16-8 第五氏家ビル4階　電話03-6262-9795

networkTAMA vol.4
発行日　2017年1月25日
発行人　公益社団法人 学術・文化・産業 ネットワーク多摩
〒191-8506
東京都日野市程久保2-1-1明星大学20号館6階
TEL 042-591-8540 WEB nw-tama.jp

多摩地域の情報をお寄せください。

ネットワーク多摩では、多摩地域の教育・行政・産業等に広く役立つ耳寄りな情報を随時募集しています。

office@nw-tama.jp